

## 【22\_020/技術系メルマガ】『邪魔者』を認識し、伸びる瞬間を捕まえる

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

昨日は、ロンドン時間初動が個人的に型に合わず難しいなあと思いながら

GBP系各通貨をチェックしていました。

その中で、NY勢が参入してくる21時過ぎごろに、GBPAUD(S)でトレードしました。

▼エントリー時のツイート(結果:利確 41.8pips)▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1483780183773843456?s=20>

以下、エントリー時の根拠を簡単に整理すると、、、  
(各々のチャートを確認してみてくださいね)

日足以上・・・高値更新が出来ず、高値圏をウロウロ。ライン的には日足直近高値が”天井”になっている

ということで、目線はショート方向で固定。

H4足以下は邪魔なSMAをひととおり抜け、そこに対するプルバックを待ってエントリー。という感じでした。

因みに今回のタイミング取りには、最近ツイートでも時々キーワードとして提示している『3波理論』も併用しました。

▼参考:3波理論(リンク先にPDFがあります)▼

<https://lounge.dmm.com/detail/2481/content/12050/>

## ■ 『邪魔者』とは何者か？

さて、以前からメルマガでも何度か、『目線を固定する』際に

各時間足における『空間』を把握することが大事であるという話をしています。

なぜこの考え方が大事なのかというと、『空間(天井と床)』を認識する事で

【どこで「一方向への値動き」が邪魔されるのか？】を把握する必要があるからです。

では、その邪魔者とは、僕にとって何者なのか？

『ライン(水平線)』は言うまでもないことですが、併せて各時間足に表示している『MA』が進行方向にいる場合は『邪魔者』ということになります。

従って、邪魔なラインがない方向に向かって『目線を固定』し、その目線方向に対して『邪魔になるMA』が何処にいるか、プランを立てる時点で把握します。

もし 邪魔 がいるのであれば、その抜けを待ち、そこからプルバックを待ってエントリーする。

ひたすらこれをくり返すのが、僕のトレードの 基本動作 です。

MAを使った分析に慣れてくれば、『MAの挙動から値動きのクセを掴む』といった

チャートリーディングも出来るようになりますが、それはいきなりやろうと思っただけではいけないので

まずは目先のエントリー方向に対して『邪魔者』になっていないか？

そこを抜けるのを待ってからでも、まだ十分な『空間』が残るか？

という視点で、その日にデイトレで攻める通貨を選択する、という訓練をしてみてください。

最初はどうもエントリーまで繋げられなかったとしても、沢山のチャートを見て

動きに慣れる事が大事ですから、『型』として身につくまで母数を集めていきましょう。

今後も、僕が実際にトレードした事例などを示し続けて行くので、必要に応じて質問をして貰えたらと思います。

それでは、今回はこの辺で！

クロガキ(クロ)